

ぼうさい

第3日曜日は、
「家庭防災の日」



休み時間に、地震がおきたら…どのように行動するとよいでしょうか。

いっしょに考えてみましょう。

○運動場で遊んでいるときは？

- ①いそいで教室にもどる。 ②その場にしゃがむ。

○トイレにいるときは？

- ①その場にしゃがむ。 ②個室のとびらをしめて、中に入る。

○階段にいるときは？

- ①頭をまもってその場にしゃがむ。 ②下までおりてからしゃがむ。

○ろうかがあるいているときは？

- ①はしによって、しゃがむ。 ②ろうかの中央にしゃがむ。

○昇降口にいるときは？

- ①くつをいそいではく。 ②あわてずにその場でしゃがむ。

○図書室にいるときは？

- ①本だなにつかまる。 ②机の下にもぐる。



☆まず、どんな時^{とき}も大切^{たいせつ}なことはあわてないことです。そして、「頭^{あたま}を守^{まも}る」を考^{かんが}えて行^{こう}動^{どう}できるとよいですね。



また、「おはしも」を守^{まも}って避^ひ難^{なん}しましょう。

おさない **はしらない** **しゃべらない** **もどらない**



では、具^ぐ体^{たい}的^{てき}にど^どのよ^ようにす^するとよ^よいのか考^{かんが}えてい^いきましょう。

●運動^{うんどう}場^{じょう}で遊^{あそ}んでいるときは…②

その場^ばに、身^みをか^かがめ^めます。

遊^{ゆう}具^ぐで遊^{あそ}んでいる人^{ひと}は、す^すぐに^にお^おり^りその場^ばをは^はな^なれ^れま^ましょう。

「液^{えき}状^{じょう}化^か」(大^{おお}きなゆ^ゆれの^の後^{あと}に地^ち面^{めん}が^がま^まる^るで液^{えき}体^{たい}のよ^ようにや^やわ^わら^らか^かく^くな^なっ^って^てし^しま^まう^う現^{げん}象^{しょう})^おが^お起^おき

てい^いない^い安^{あん}全^{ぜん}な^な場^ば所^{しょ}に^に避^ひ難^{なん}し^しま^ます。



●トイ^とレ^れに^にい^いる^るときは…①

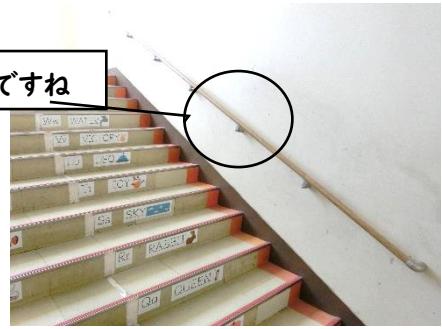
その場^ばで、頭^{あたま}を^をま^まも^もっ^って^て身^みをか^かが^がめ^めま^ます。個^こ室^{しつ}に^に入^{はい}っ^って^てい^いる^る場^ば合^{あい}は、^と戸^とは^はあ^あけ^けま^ましょう。

●かいだんにいるときは…①

手すりにつかまるのもいいですね

あわてずに、^{あたま}頭をまもって^み身をかがめます。

手すりにつかまるのもいいですね。



●ろうかをあるいているときは…②

中央により、^{あたま}頭をまもって^{らつかぶつ}落下物のない^{ぼしよ}場所で身をかがめます。よゆうがあるときは、^{ちか}近くの

^{きょうしつ}教室に入り、^{はい}机の^{した}下にもぐりましょう。

●^{しょうこうぐち}昇降口にいるときは…②

^お落ちてくるものに^き気をつけて、^{あたま}頭をまもって^ばその場でしゃがみます。

くつをはきかえることよりも、あわてず^み身を守^{まも}るようにしましょう。

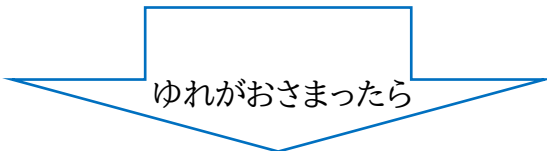
本だなからはなれよう



机の下にもぐろう

●^{としよしつ}図書室にいるときは…②

^{ほん}本だなからはなれて、しゃがみましよう。^{つくえ}机の^{した}下にもぐりましよう。



^{うんどうじょう}運動場の^{あんぜん}安全な場所へ^{ぼしよ}避難^{ひなん}します。(二次避難)

『^{じぶん}自分の



は、^{じぶん}自分でまもる』

これからも^{まいつき}毎月、^{がくしゅう}ぼうさいの学習を

いっしょにしていましよう